

直木賞作家 今村翔吾氏講演会

2022年7月25日（月）に、直木賞作家の今村翔吾氏を新川高校にお招きして、読書の魅力と夢をあきらめないことの大切さについて講演していただきました。（著作権の都合上、新聞記事は編集されています。）



集合写真です。



講演会の様子です。



作家・今村翔吾さん「まつり旅」

翌二十五日、今村さんは愛知県清須市の県立新川高校で生徒ら約六十人を前に講演した。ダンスインストラクターだった三十歳の時、教え子の一言で作家になる夢と向き合えた思い出を例に「夢をかなえるには努力と才能だけでなく、人生を変える人との縁が必要」と語った。二年の麻生実希さん（こは）は「今日来てくださったことも縁の一つだと思つ」と話した。

今後は関東、東北、北陸などを巡り、九月二十四日に山形県でゴールを迎える。

中日新聞 8月1日夕刊に記事が掲載されました。

書店・学校巡り折り返し

今村翔吾さん「まつり旅」

全国47都道府県の書店や学校をワゴン車で巡る直木賞作家・今村翔吾さん（38）の「まつり旅」が25日、約4か月の行程のほぼ折り返しを迎えた。この日は愛知県清須市の県立新川高校を訪ねた。生徒約50人を前に、「才能と努力と人との縁が大事。出会いを大切に、やりたいことに挑戦してほしい」と語った。

今村さんは直木賞受賞後、書店や出版界を盛り上げるため旅を企画。滋賀県守山市を5月30日に出発し、関西や九州など170以上の学校や書店を訪れた。

織田信長、豊臣秀吉、徳川家康らの武将を生んだ愛知県は歴史小説を手掛ける作家には思い入れの深い地。講演では、1日2時間の睡眠でデビューまで2年半、書き続けたことも力強く明かした。同高2年の佐竹良太さん（16）は、「夢を追うか、安定した仕事につくか進路で迷っていた。来月初旬には関東入りし、9月のゴールを目指す。」

読売新聞 7月26日朝刊に記事が掲載されました。



今村氏の車に本校生徒2名がメッセージを書きました。